



JAESCO・2020年度特別企画
「SDGs コンソーシアム」の設立に向けて
コンソーシアム設立準備セミナーを開催します！

第1回 2019年12月10日（火）

【今回のご案内・お願い事項】

- 第1回設立準備セミナー（12/10）への参加
- コンソーシアム設立準備委員会への協力参加
- JAESCO 会員外企業へのセミナー参加のご案内

（一社）ESCO・エネルギーマネジメント推進協議会
SDGs コンソーシアム設立準備委員会
理事／委員長 筒見 憲三

0. はじめに

10月15日の理事会にて、2020年4月を目途に一般社団法人ESCO・エネルギーマネジメント推進協議会（以下、「JAESCO」）として「SDGs コンソーシアム」の設立に向けた準備活動を開始することが承認されました。

そのコンソーシアム立上げに向けて、2019年度中に以下に示すような2回のセミナー形式の会合を開催します。

つきましては、JAESCO 会員社様におかれましては、本設立準備セミナーへの積極的な参加をご案内申し上げます（参加費は無料）。

本活動のスローガンは、「SDGs イノベーション」とします！

- ・SDGsの世界最先端の動向をもっと深く知りたい！
- ・SDGsをどう自社のビジネスに活用するか悩んでいるが妙案はあるか！
- ・SDGsを自社のビジネス革新の契機としたいがどうすればよいか！

以上のようなSDGsに関する様々な問題意識を持ち、またビジネスチャンスと捉えておられる方々にとって、有意義なものとなるような活動を目指して参ります。



なお、本活動は今後とも JAESCO においては、「SDGs コンソーシアム設立準備委員会（委員長：筒見）」を立上げ、鋭意進めて参ります。本委員会は、すべての会員企業様にオープンですので、ぜひ委員会に参加し、ご支援ご協力をいただけるのであれば、大変心強く感じます。その企業様は、ぜひとも JAESCO 事務局までお申し出いただきたく。

また、本活動への外部からの協力企業として、株式会社日本総合研究所・創発戦略センターにお願いすることとなっております。

さらに、JAESCO 会員企業様へのお願い事項としては、この活動への JAESCO 会員外企業を勧誘いただくことです。会員企業各社の重要なお客様へお声をかけていただくことを期待しております。会員企業外企業への参加ご案内のための説明パンフレット（活動概要説明書）は、追って皆様へ送付させていただきますので、何卒よろしくお願ひいたします。

最後になりますが、本件に関して、ご疑問やご質問等がございましたら、遠慮なく筒見までご連絡をいただければ幸いです（Email：tsutsumi@veglia.co.jp、電話：03-6279-0782）。

何卒、本活動へのご理解とご支援のほど、重ねてお願ひ申し上げます。

1. なぜ今 JAESCO としてコンソーシアムの立上げを行うのか？

JAESCO は、前身となる ESCO 推進協議会の設立(1999 年)以来、わが国における ESCO 事業やエネルギーマネジメントサービス事業の普及・拡大に先駆的な貢献を果たしてきました。JAESCO は本年（2019）で創立 20 周年となり、5 月には記念シンポジウムを開催し、現在の会員企業は 78 社（正会員 33 社、賛助会員 45 社）となっております。引き続き ESCO 事業のみならず、さらに幅広く省エネ・再エネ・エネマネ事業やエネルギーサービス事業全般を対象として、JAESCO 会員企業へのさまざまな支援活動を行なっていく使命があると認識しております。

一方で、グローバルなエネルギー需給構造の変化、エネルギー産業の再編、世界的な「持続可能性」をめぐる議論の深化などに伴って、JAESCO 活動の進化や ESCO・エネマネ事業者サイドの意識改革、事業革新が必要であるとの課題が生じているのではないかと認識しております。

そのような事業環境の変化の背景としては、2015 年 12 月の COP21「パリ協定」の成立により、またそれに先立って同年 9 月に国連にて採択された SDGs¹（持続可能な開発目標）によって、世界的な「脱炭素社会構築」に向けた諸活動が活発化していることが挙げられます。

JAESCO においても、そうした世界的な潮流に乗り遅れることなく、むしろ主体的に脱炭素社会の構築に向けた諸課題の解決を図ることを本業とする JAESCO 会員企業に対する支援活動を革新すべき時ではないでしょうか。

¹ SDGs：Sustainable Development Goals



こうした現状認識と問題意識のもとに JAESCO の新たな活動として「SDGs コンソーシアム」の設立を推進するもので、この諸活動を通じて JAESCO 会員各社の意識改革・事業革新に資することを企図するものです。

2. 今なぜ SDGs なのか？

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを謳っております。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本政府としても積極的に取り組みを行っており、また経団連等の経済団体ならびに各企業も、その達成貢献を積極的に果たしたいと取り組みを進めています。

一方、SDGsの採択からすでに4年が経過しており、わが国でも急速に ESG 投資²を意識した非財務情報の開示として、SDGsの活用例が始めてありますが、まだまだ世界の先進的な動きからすると、その内容の広がりや深さにおいて遅れを取っていることは否めません。

例えば、SDGsのゴール7は「すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する」となっており、そのもとに「7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる」「7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる」などの意欲的なターゲットが掲げられています。

また、ゴール13の「気候変動への具体的な対策を」は、まさにJAESCO会員企業が目指すべき自社のゴールであり、かつ各社ビジネスの対象顧客にとっても共通の目標ともなるものです。

これらのゴールやターゲット達成には、ESCO事業者やエネルギーマネジメントサービス事業者の役割や貢献余地も大いにあることは明白ですが、これまで、日本国内の関係事業者は、自らの事業とSDGsの達成貢献を結び付けた取り組みの推進や情報発信を必ずしも明示的に行ってこなかったのではないのでしょうか。

2020年4月を目途とした「SDGs コンソーシアム」の設立を機に、そうした機運を醸成していきたい。JAESCOとして、SDGsの中でも特に全ての企業に共有課題でもあるゴール7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、およびゴール13「気候変動への具体的な対策を」

² ESG投資とは、Environment（環境）、Social（社会）、Governance（企業統治）を企業の持続可能な成長が期待できるかどうかを見極める非財務的指標を重視した投資行動で。



を中核的テーマとして、わが国の産業分野での SDGs 達成活動の活性化に資する具体的な行動をとるべきとの思いから、ここに「SDGs コンソーシアム」の設立を目指した活動を開始します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための 17 の目標



3. 本コンソーシアム設立の主旨と目的

本コンソーシアムを設立する主旨と目的は以下の通りです。

- (1) JAESCO 会員企業の SDGs への認知度向上、自社ビジネスへの戦略的な対応方針の構築に資する最新の SDGs 関連情報を提供すること
- (2) JAESCO 会員外企業へ幅広く参加を求め、JAESCO 会員企業との SDGs 対策（特に、エネルギー効率化、再エネ普及、気候変動対策等）におけるパートナーシップの構築を目指すこと
- (3) JAESCO 会員企業および会員外企業における先導的な SDGs 対応事例を発表し合い、産業界全体での SDGs 対応のレベルアップを図りつつ、各社において SDGs をどうビジネスに活かすかというテーマへのアイデア出しを行うこと
- (4) SDGs 関連するより具体的なテーマ（5 項に詳述）を設定し、広く世の中への情報発信または政府等への政策提言を行うこと
- (5) 本コンソーシアム活動の結果として、JAESCO がわが国産業界における SDGs 推進のリーディング団体の地位を獲得すること



4. 本コンソーシアムへの参加者

当該コンソーシアムは、JAESCO の中で参加意欲ある会員企業その他、広く JAESCO 外の企業、団体を招へいすることを想定します。これは情報発信、政策提言活動の説得力を高めることを狙いとするとともに、JAESCO 会員の潜在的顧客の発掘、ひいては JAESCO 会員のすそ野拡大にも資することをも視野に入れております。

また、JAESCO 会員企業以外の優良な企業に多数集まってくることが、本コンソーシアムの成否を決めると言っても過言ではありません。特に、グローバルな事業展開をしている企業にとっては、この SDGs に関しては ESG 投資という金融の世界の大きな流れからも、避けて通ることのできない重要な経営課題の一つとなっております。さらに、そのような企業のサプライチェーンである企業など、多数の JAESCO 会員外企業の参加を期待しております。

そうした新たな企業の参加を広く求めるためにも、銀行等の金融関係企業様も積極的に参加者に加えたいと考えております。



5. SDGs コンソーシアムの内容案(2020年、正式発足後において)

現時点において、SDGs コンソーシアムの活動の主テーマ案としては、具体的には以下のようなテーマを想定しております。

a) ゼロエミッション等イニシアチブにおける省エネ・エネルギー効率化・再エネ普及の役割

近時、RE100 (100% Renewable Electricity) に代表される事業運営を 100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業が加盟するイニシアチブや、EP100 (100% Energy Productivity) は、事業のエネルギー効率を倍増させること (省エネ効率を 50%改善等) を目標に掲げる企業が参加する国際企業イニシアチブなどが生まれており、日本企業がそこに参加する事例も生まれてきています。そこで、コンソーシアムメンバーでその内容を広く理解するとともに、JAESCO 会員が、そうした活動にどう貢献することができるかを議論し、成果の情報発信を図ることとします。

なお、日本気候リーダーズ・パートナーシップ (Japan-CLP) や気候変動イニシアティブとの連携等も視野に入れております。

b) わが国エネルギービジョンにおける省エネ・エネルギー効率化の役割

わが国の将来的なエネルギーミックスの議論は、原子力発電所の運転停止・新設に関する高いハードル、石炭火力発電所に対して世界的な厳しい目が向けられている状況から袋小路に陥っています。他方、これまでのエネルギー基本計画の策定などにおいては、電力需要が過大に想定されたり、エネルギー効率改善による総需要抑制の効果が十分反映されていないという側面がありました。そこで、JAESCO 会員企業ならびにコンソーシアムメンバーからみた現状のわが国エネルギービジョンの評価、ならびに将来のわが国エネルギービジョンの展望を議論し、成果の情報発信を図ります。

c) 脱炭素社会への移行 (Transition) と日本版タクソノミー

欧州委員会は、現在、サステナブルファイナンスの推進政策を前面に掲げており、その中核として「持続可能性に資する経済活動の分類体系」(タクソノミー) の作成を急ピッチで進めています。ただ、現在発表されている原案を見る限り、現在普及しているハイブリット自動車や天然ガス火力発電所もその分類には入らないなど、理想的な経済活動だけを集めたものとなっています。こうした経済活動だけに資金を誘導しようとする政策は、イノベーションを阻害したり、現実の経済活動を脱炭素社会へと移行させていくプロセスの貢献にはならないとする意見も多数あります。そこで、そこで、JAESCO 会員企業ならびにコンソーシアムメンバーが、わが国の実情に照らして有効な「日本版タクソノミー」を議論し、成果の情報発信を図ります。



6. 【今回のご案内】SDGs コンソーシアム発足に向けた準備セミナー開催

当該コンソーシアムの正式発足は、2020年4月下旬を想定しています。

そこで、2019年10月から2020年3月末までの半年間を設立準備期間として、コンソーシアム発足に向けた以下の2回のセミナー形式会合を開催し、広く参加者を集め、2020年4月下旬の正式発足に備えることとします。

なお、この2回のセミナーへの参加費は、JAESCO 正会員・賛助会員およびJAESCO 会員外企業とも、全て無料とします。

(1) 第1回セミナー

- ・ 日時： 2019年12月10日（火） 13：30～17：00（13：00開場）
- ・ 場所： 東京スクエアガーデン 5F 東京コンベンションホール中会議室
（東京都中央区京橋3丁目1-1）
- ・ 主題： 『持続可能性に貢献するエネルギーマネジメント』
～ EUタクソノミーとTCFD提言から考える ～
- ・ 講演： 概要は別紙のセミナープログラムによる

(2) 第2回セミナー

- ・ 日時： 2020年2月下旬から3月上旬を予定
- ・ 場所： 未定
- ・ 内容： SDGs コンソーシアムにおける具体的な活動テーマ
検討スケジュールについて
SDGs コンソーシアム参加要領の説明 など

以上

【お問合せ先】

一般社団法人 ESCO・エネルギーマネジメント推進協議会事務局 布施宛

e-mail : fuse@jaesco.or.jp TEL : 03-3234-2228

SDGs コンソーシアム設立準備委員会（㈱ヴェリア・ラボラトリーズ内） 筒見宛

e-mail : tsutsumi@veglia.co.jp TEL : 03-6279-0782